

社会福祉法人 光寿会

2025年4月15日(1)

まんさく

第311号

社会福祉法人 光寿会
まんさく編集委員会
和賀郡西和賀町湯本30-76-1
TEL 0197-84-2526
題字 元理事長 太田 祖 電



少し遅れてお彼岸と災害地を偲ぶ春法要勤修 ～令和7年3月27日～

お彼岸の時期にできなかったため、遅ればせながらお年寄りたちとお勤め致しました。墓参りやご自宅でのお参りに出向けないためか、お年寄りたちの合掌の姿には熱を感じたひと時でありました。

311号『まんさく』もくじ

☆2頁★

＊令和7年度光寿会心得
「お年寄りのために」

☆3頁★

＊災害を捉える

☆4頁★

＊地域密着型事業紹介
＊寄贈・面会・外泊等

☆5頁★

＊「今生より往く」

☆6頁★

＊「光寿会の日々」(4コマ漫画)
＊「自然法爾」(おきさんのお話) ＊「おわりに」

光寿会では、事務系・相談員系・介護系・調理系等の職員を募集中です♪

光寿会が歩む「目的」

『生きる意味』を発見し合える道場にしよう

- (1) 寝たきりに近い状態で、一生を苑生活で閉じようとしている方が多いわけで、その方々との共同生活の中で、寝たきりであっても「生きる意味」に何の遜色も無いことを発見すべきである。それは、「職員からお年寄りへの愛」というだけの人間関係ではなく、お年寄りから職員への心づかい、愛などによって、初めて福祉職員として働いていられることを忘れないことである。
- (2) お世話する者とされる者という関係ではなく、むしろお年寄りに何かを学ぶという職員、そういう関係でありたい。

*** 光寿会職員の理念・心得…2025 ***

2025年度法人キーワード 『お年寄りのために』

相談員、介護支援専門員、看護職員、介護職員、栄養士、調理職員、洗濯掃除職員、事務員と、沢山の職種と職員で光寿会の福祉は支えられています。福祉の意味は『社会の構成員すべてにもたらされるべき幸福』ですが、光寿会職員の幸福の源は『お年寄り』です。お年寄りが幸せに暮らせるように…。このシンプルでありながら実践が決して簡単ではないテーマ、『お年寄りのために』を理念とし、全職員で取り組んで参ります。

- ① その考えが、行動が『お年寄りのためになっているのか』を基本とします。
私たちの考えや行動が、最終的に『お年寄りのためになるのかどうか』に常に立ち還り、検討し、実践に移していく習慣を身につけましょう。その習慣を基軸としながら協力体制を構築しましょう。
- ② 『一つ止まって』考え、判断するという『正』の意味を大切にします。
自分が正しい…という所にこだわって接していくと、相手を傷つけたり、相手の事を受け容れることが困難になります。一旦立ち止まって、一呼吸置いて、相手の『正』も受け止められるように。
- ③ 自分が発している「音」を意識して行動します。
自分の「足音、か横になっているお年寄りにはどう聞こえているのか？快・不快のどちらなのか？自分の足音を意識する事、また物を扱う音等、相手を思いやる行動の一步になる事を意識しましょう。
- ④ 相手の気持ちの傍で『聴く』姿勢を大事に取り組みます。
『聴』には「ゆるす」の意味があります。言わば「受容」に繋がる意味です。相手の感情や気持ちに、静かにゆっくり耳を澄ましてくれる人がいるだけで、気持ちや考えが整理されていく効果が生まれます。
- ⑤ 「結果」よりも『経験から得た財産』に目を向け、尊べる人に成ります。
どんな仕事をして、どんな成果を挙げたかで自他を評価する「結果主義」の観方が、自分たちの仕事に苦悩をもたらします。どんなに尽力しても、最後はお別れもくる私たちの仕事。であればこそ、結果に至るまで費やしてきた関わりの中身と、経験から得た財産に目を向け、その成長を尊びましょう。

想...

災害を捉える 石川県七尾市から発信④

『能登から被災地だより④』竹原了珠氏



今回も引き続き、能登半島地震を経験して向き合い続ける竹原さんに筆をとって頂きます。『思いと現実のギャップ』の中で、考えさせられる内容です。

能登の方言で、他人の行為を批判する表現が多くあります。その中で「やねこい」という言葉があり、「しつこい」の意味で、例えば「あの人が、今もやねこい事言う」とる。だちやかん人（ダメな人）や、「しつこい」ように使います。このように言わないように、しつこい人と思われない事が美德とされているのです。同様の意味で「いじくらしい」という言葉も日常的によく使用されています。「大変だった」といつまでも言わないし、苦しい事をしつこく「苦しい」と言わない精神文化は、能登地方に広く定着しています。それが、能登人の逞しさや我慢強いイメージを生んでいるように思えます。

例えば、「正月に被災されて大変でしたね」と多くの方から声をかけられます。正月休みどころではない強烈な緊張の連続や、年末からの里帰りで七くなられた方はいます。でも一年経った今は、

「実家に里帰りしていた若い方々が多かったです。倒壊して下敷きになった被災者を大勢助け出せました。正月休みで若い方々が

なければ、死者ははるかに多かったでしょう。また、正月だからこそ食料や灯油を沢山買い込んだいきましたし、電気が使えなくても冬のだから食品は腐りにくいし、排泄の臭さは最低限に抑えられたと思います。」

と答えています。

また、地震被害で過疎が一層進むのでは？とご心配頂く事があります。すでに転出超過は歯止めがかからず、病院や役所の職員も減少して生活基盤が揺らいでいます。こういう事も伝えつつ、一方で、

「確かに過疎は進みますが、無条件に過疎が悪い訳ではありません。都合のようにたくさん人がいる場所で地震災害が起こった時に、能登のようにすべての食べ物を出し合って分け合う事はあるだろうかと思うと、人が少ないからこそ大切にし合うつながりがあるのでは、過疎が問題とも思えません。私が住んでいる集落は、何年ほど昔と比較すると、住民は半数近くに減少しています。人が多かった昔の方が良かった訳では決してありません。

「産業が壊れて大変なんでしょう？」という声も聞きます。確かに大変で、未だに復興していない事業所はたくさんあります。私もお寺の境内にあるゴーストの焙煎工房はこれから「公費解体」するのです。これから「公費解体」するのです。か、これからの見通しについて悩み続けています。でも、

「地震が立ち止まって考える機会になっています。一年以上お待ち頂いているお客様もいますし、前向きに考えたいですね。」

と。この答えは嘘ではありません。でも、思いとは裏腹。飲み込んだ言葉や不安は、焼けた石のようにチリチリと心の中を焼いているようです。

「やねこい」「いじくらしい」の言葉を反面教師として饒けられた事は、地震や水害にあっても壊れないで生き続けているのです。

次号へ続く...

今月の登録者の方々

15名様です♪

小規模多機能ホーム「ひなたぼっこ」
住宅型有料老人ホーム「湖畔の宿」

西和賀の春は特別感慨深い…「ひなたぼっこの日常」



3月のお茶会
「ひと月遅れの恵方巻作り」

第6回『運営推進会議』(3月25日)

△外部委員7名、職員3名△

〔職〕行政へ「外部評価」の最終報告となりますが、事業所の防災・災害対策の改善計画として以下の内容はいかでしよう。告知端末の有事の活用について、地域の多くの人が扱う事ができるように、防災訓練に取り入れる。また、その振返りを当会で言うことを検討する。

〔委〕今年度全体を通して、当会議に利用者や家族の出席がコロナ禍以降できていない点はいかがでしょうか。

〔委〕家族は別として、利用者に聞いているのは「外部評価」のための日中視察の回が設けられているので、それで良いと思います。

〔委〕外部評価の設問が分かりにくい点と、毎年変わらないため評価に活用しにくい点は、いかに反映しているかという内容のものがない。盛り込める？

〔職〕担当課に持ち帰って頂き、改善できるか検討頂けますか？

〔委〕課内（行政）で確認します。

おかげさまでした

寄贈

★匿名希望様〔西和賀町〕
☆梨子下 深雪様〔上野々〕
☆高橋 ちづ子様〔下 前〕
☆高橋 郁子様〔下 前〕
☆山本 ミヤ様〔湯 本〕
☆杉谷 政行様〔秋田県〕
☆高田 ゆき様〔福島県〕
☆高橋 智也様〔埼玉県〕
☆山口 要子様〔奈良県〕

来所

〔3月26日 拝聴ボランティア〕
★お年寄りを護る会 … 4名
〔3月25日 第6回 運営推進会議〕
☆運営推進会議委員 … 7名

面会・外泊

〔3月1日～31日〕

【対面面会】

★延べ117名(対象入居者25名)
☆延べ25名(対象入居者5名)

【自宅外泊】

☆延べ4名



光寿会へのご支援
★光寿苑 ☆ひなたぼっこ、湖畔の宿



『今生より 往く』



一世紀生きた人間の深み偉大なり

高橋 吉夫 さん【101歳】

担当になれて本当に良かった…。吉夫さんの人生のほんの^{いちぶ}一瞬の関わりでしかなかったですが、一緒に歩ませて頂けて本当に貴重でした。吉夫さんから、『生きる意味』を教えて頂きました。心よりありがとうございます。今も、そしてこれからも、私の心の中で生き続けます。ご家族の寛容なご理解感謝です。

《佐々木しおり、ターターアウン》



静かな中に生きる強さを表した母

高橋 光子 さん【99歳】

風邪も引かず、熱も上げず、何にも負けない丈夫な光子さん。また、芯からとても強く、そんな光子さんに私たち職員はいつも勇気づけられました。最期に、筋子を食べさせて頂けた(自分で選んで)時には、とても嬉しく、感動しました。沢山、ありがとうございます。99年間、長い間本当におつかれさまでした。

《高橋加奈恵、刈田典子》



家族に大事にされ続けた優しき母

柏崎 良 さん【92歳】

物静かな方だと思っていましたが、実はお話し好きな方で色々教えて下さいました。また、動物が大好きな方。孫さんの面会時、お菓子やジュースをよく持参して下さいました。ご家族にとって、めんこいばっちゃんだったからだと思います。そして、息子さんに髪をカットして頂き、とてもキレイな方でした。今もお本心にありがとうございます。

《高橋文子、高橋めぐみ》

光寿苑の日々 311号



イラスト：1000

何度も説明してきた「お茶会」は、ひなたぼこ開所の平成19年以來、利用者以外の方で、月1回、体験を兼ねて開放している場である。面々はガレリと変わったが、お気な方々のエネルギーは変わらない。この日もハロワに圧倒されました(笑)

萬有の真相は、曰く「不可解」

旧制一校生 藤村操

第110回 丸田善明

自然法爾「じねんほうに」

明治36年5月27日の朝、漱石はいつものように第一高等学校(現東京大学)の教室の扉を押した。漱石の周りに集まってきた生徒たちの一人や、藤村が葦原の滝に懸か込んで死んだそうですよと話した。マワ朝報に報いられていると。

漱石はハッとした。数日前、英語の授業で、その日予習してこなかった藤村操を叱責した。彼はそれを苦にして死んだのだらうか。

英国留学から帰るとすぐ、漱石は一高と東京大学の英語の講師となった。事件は、その一ヶ月後のことだった。

※明治36年11月9日3年

哉古今、五尺の小軀を以て此大をはからむとす。そして、冒頭の言葉に続く。
「少年哲学者の死」と報ぜられた藤村の死は、日露戦争前の浮揚感にある青年たちには、如何に生くべきかと問うて衝撃となった。漱石の文学にも大きな影響を与え、マ吾輩は猫など登場する。
藤村の父・胖は旧南郡藩士。明治維新後、北海道に渡り、花田銀行頭取。

ご自身の「色」(持ち味)はどんな色ですか? その色は、ずっと同じ色でしたか?

おわりに

春を迎えると、超雪国の西和賀で生まれ育った私にとっては、新鮮な気持ちでリスタートできる! ことが長年あった。気がする今「気がする」と言う位、近年の春は、どうもクリアにできない。コロナ禍の影響が尾を引いているのか? それとも年のせいだ。今、置かれてある国の状況と私の置かれてある立場がそう思わせるのか。春の色の一つ、ピンク。このピンクも日向と日影では違って見える。素材や角度の違いでもまた違う。その根本は私自身の色メがネ。思い込みを超えたい始まりの時。

⑤